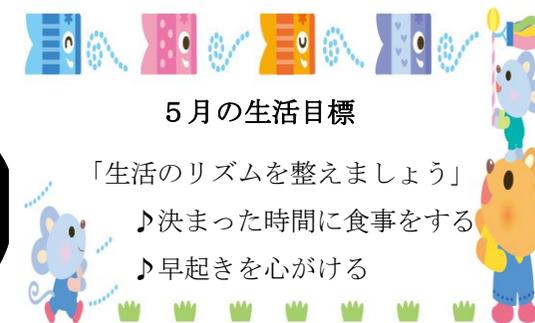


## なかよし一む、なかよし・フレ、なかよしミニの募集についてのお知らせ

平成 29 年度のなかよし一む（2 歳児クラス）となかよしミニ（1 歳児クラス）は下記の予定で受付をします。

記

- 開講目的 低年齢時より、友達や人とふれあい、一緒に遊ぶ楽しさを体感する。親同士の親睦をはかり共に子育ての悩みを語り合う場の提供をする。
- 対象年齢
  - なかよし一む、なかよし・プレ（2 歳児クラス）  
平成 26 年 4 月 2 日～平成 27 年 4 月 1 日までの生まれ（3 グループ）予定 1 グループの人数は 12 人程度です。**（先着とさせていただきます）**  
※うち 1 グループは、なかよし・プレとします。
  - なかよしミニ（1 歳児クラス）  
平成 27 年 4 月 2 日～平成 28 年 4 月 1 日までの生まれ（2 グループ）予定 1 グループの人数は 12 人程度です。**（先着とさせていただきます）**
- 内容
  - ①毎月 1 回程度親子登園をします。1 回目は、6 月初旬を予定しています。
  - ②時間は 10 時 00 分から 11 時 30 分の約 1 時間 30 分程度です。
  - ③料金は実費（名札代 130 円・誕生カード 290 円）申し込み時に徴収させていただきます。
- 申込方法
  - ①**なかよし一むは、5 月 8 日（月）14 時より**受付を開始します。  
※13 時以降に来園して下さい。
  - ②**なかよしミニは、5 月 8 日（月）11 時より**受付を開始します。  
※園児の送迎のため、10 時以降に来園して下さい。  
（受付用紙は保育園に準備しています。）  
※定員になり次第終了させていただきます。
- 問い合わせ先 **TEL 31-6877**（三光保育園：鬼塚）



### 事故予防のための指導は、丁寧に根気よく！

春になり、家の中で生活していた小さな子ども達が公園や園に姿を現すようになってきました。幼稚園にも弟妹児がお兄ちゃん・お姉ちゃんの通園バックをからって嬉しそうにお迎えに来ています。

さて、先般から公園の遊具等で命を落とす事故の報告が相次いでいます。ランドセルを背負ったまま遊んでいて遊具に挟まり事故にあう等、本当に悲しい出来事です。

子どもが成長する過程において、色々な場面で危険な行為やそのリスク等、大人は一つ一つ丁寧に根気よく指導していきましょう。園でも、縄跳びをもって滑り台やブランコで遊ぶ時など、「もしこのロープに〇〇ちゃんの足や手、または首が挟まったらどうなる？」等々、一緒に考えながら遊び方のルールを教えています。公園等で遊ぶ時、是非危険なことやしてはいけないことなど、根気よくご指導のほどお願い致します。

そして、体をいっぱい使って戸外遊びを楽しみましょう。（三光保育園長）



### 「シニアサロンぽぽら」をご存知ですか？

地域子育て支援センター「さんこうぽぽら」では、月に 1 回地域の方におこし頂き楽しいひと時を過ごしています。お茶とお菓子を頂きながらおしゃべりをしたり、園児との交流を楽しんだりして頂きます。奮ってご参加下さい。

日時：5 月 26 日（金）10 時から 12 時  
内容：カロリーソング体操を踊りましょう！！  
場所：さんこう・ぽぽら  
※お電話でお申し込み下さい。31-6877



### ♪育児相談・食育相談をしています♪



三光保育園及び三光幼稚園では、育児・食育相談を受け付けています。お気軽にお申し込み下さい。

※毎月第 3 火曜日の 14 時～16 時までは、西九大短大部教員による、食育相談を行っています。事前にお電話でお申し込みの上、ご利用下さい。（31-6877）

### 「なかよしミックス」に遊びにきませんか！

就園前までのお子様と保護者の方が一緒に参加して親子で楽しく遊ぶ集いの場です。

★第 2 回目の 5 月は、  
日時 5 月 23 日（火）10:00～12:00  
5 月 25 日（木）10:00～12:00  
内容：母子一緒にエアロビで体を動かして楽しむ  
持ってくる物：コップ  
場所：さんこう・ぽぽら



※駐車場は三光保育園からお入り下さい。事前のお申し込みが必要です。（いずれの日も先着 16 組の親子）

※電話の受付は、平日の 9:30～17:00 までをお願いします。

### 「フリーティ」にもどうぞ！

日時：5 月 18 日（木）10:00～12:00  
5 月 19 日（金）10:00～12:00  
お好きな時間にお出かけ下さい。  
場所：さんこう・ぽぽら

子育てだより

「幼児教育雑感」

幼児保育学科 教授 米倉 慶子

春は心が和み大好きな季節です。若葉と山々の緑のグラデーションの美しさ、桜並木に心が浮き立ち、色鮮やかな花が咲き乱れ心を癒してくれます。我が家の庭ではハナミズキ、バラ、ツツジ、ラベンダーが咲きます。チューリップ、ガーベラ、ポーピー大好きですが、この花々は短い命なので比較的長く咲く、パンジー、ビオラ、ペチュニア、ベコニア、ゼラニウムが我が家の玄関や庭先に陣取っています。子どもが幼い時、一鉢を子ども用に準備してあげると、土の入れ替えをして、お気に入りの花苗を遊びながら植え、ジョウロでの水やりを喜んで担当していました。思えば四季折々のこの作業から、季節の花の名前を子どもたちは自然と覚えていきました。自然に体験させることが教育につながるのですね。生活の中には、体験する事柄が数多くあります。お掃除体験、料理体験、旅先での〇〇体験等さまざまな体験を、子どもに与えてみてはいかがでしょうか。

我が家の子どもたちの幼き頃を思い出したついでに、父との思い出で忘れられないことがありました。何かが原因で子どもを叱っていたら、父が私のところへそっと近寄り耳元で「お前の叱り方が、先々子どもにしっかり伝わるぞ」と言ったことがありました。その言葉にガーンと衝撃を受け、心に刺さりました。きっと強い口調で叱っていたのでしょうか。それから一呼吸おいて、どういう風に理解させ教えられるか、考えて叱るようになりました。父はその言葉を発した後、私の叱り方を批判するでもなく、その後の対応に一切口出しをしませんでした。そんな父の格好良さに、私もそんな一言が言える人になりたいと思ったものです。

親になったら必ず「躾」の名のもとに叱ることが多いですね。私も随分悩まされました。叱ることは本当に難しいです。だから躾についての様々な教育書が出版されています。その教育書から見つけた私のお勧めの言葉は、

- ・叱ることと怒ることは違う
- ・叱るより教える
- ・叱る時に体罰も加えていると、表面だけを繕う人間になりやすい
- ・叱った後にスキンシップをする時間を必ず設ける

という言葉です。しかしそれよりも、「叱るよりも褒めることが何倍もの効果がある」という言葉を一番にお勧めします。

食育便り

「冒険の春～生まれて初めて食べるプリンのお話～」

西九州大学健康栄養学部健康栄養学科 教授 横尾美智代

毎年3月下旬になるとゼミ生を連れてネパールの保育園(ジョティ・ケンドラ保育園)を訪問している。目的はゼミ生による給食やおやつ作成の実習である。園の食事は貧しい家の子どものためにメインディッシュであり、最大の楽しみであるから、失敗は許されない。これまでに彼らが作ったおやつは、芋かりんとう(1期生)、人参と青菜の蒸しケーキ(2期生)、「若鮎」を真似た魚ケーキ、ヨーグルトケーキ(3期生)、砂糖たっぷり蒸しケーキ(4期生)、といずれもネパールの子どもの嗜好を考え、現地食材(野菜、乳製品)を活用した健康に配慮した品であった。園児、先生から喜ばれることにホッとす一方、最近物足りなさを感じて始めた。

それは、食の意外性、驚きの乏しさだ。彼らを作るケーキは色も形も日本風、ネパール人にとっては異国のおやつではあるが、食感は現地で入手できるパン類と大差ない。

そこで今年(5期生)は冒険に出た。園児が味わったことのない食感のおやつへ挑戦、プリンである。冷蔵庫が普及していないネパールにはプリンやゼリー類は見かけない。日本の子どもに人気のおやつがネパールの子どものにも喜ばれるのか。プリンの独特の食感を美味しいと感じてくれるのか。不安を抱えつつも、ゼミ生はプリンを蒸し上げた。

おやつの時間になり、ひとりずつに手渡されたプリンを恐る恐る口に入れた後の園児の表情は忘れられない。世の中にこんな食べ物があるのか!と言わんばかりの驚き、満面の笑顔、フワフワのプリンをひと匙ずつゆっくり楽しむ姿が至る所で見られた(写真)

子どもの食への好奇心、挑戦する力は無限である。柔軟な嗜好は柔軟な思考に通じる。



「おふくろの味」、「変わらぬ美味しさ」も大切だが、新しい食に挑戦する冒険も子どもの成長には大切だと思う。季節は春。新しいことに挑戦するにはよい季節だ。親子で新しい食探しの冒険を楽しんで頂ければと願う。